

鉄道写真・花火写真・音楽ライブ写真を基盤に  
表現の可能性を追求するフリーペーパー

発行：CTIN 河野 拓

E-mail: ctin@ctin.jp http://ctin.jp/ Twitter: @t\_kohno



秩父鉄道 EL 埼玉県民の日号  
2011.11.14 樋口～野上間にて撮影

## 創刊ごあいさつ

はじめまして。私は、これまで3回、東京ビッグサイトにて開催されるデザイン・フェスタで鉄道写真等の展示を行い、また、デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿でも小規模なものを含め何度か写真の展示をさせて頂いている、「CTIN」の河野(こうの)と申します。

"CTIN"はデザイン・フェスタへの出展を機に立ち上げた個人ブランドです。一人プロジェクトと言ってもいいでしょう。名称は"Colorful Trains In Nature"の略でもあり、「秩父鉄道の色々な仲間たち」の頭文字を取ったものでもあります。また、東北地方をテーマとした展示を行う場合は"Challenge Tohoku I love Nippon"の略にもなります。これらの名称にも現れている通り、埼玉県北部・南東北地方での撮影が多くなっています。

"CTIN"の活動は私、河野が得意とする鉄道写真・花火写真・音楽ライブ写真を基盤として、表現の可能性を追求することです。単なる写真展示に留まらず、如何に表現として訴えられるものにするかを目標としています。

単にそれぞれの分野を好きな人が満足すればいいだけじゃない。それぞれの良さが、あらゆる領域の方々に伝わればいいと願っています。そのためには、ジャンルにこだわらない、デザイン・フェスタのようなイベントやデザイン・フェスタ・ギャラリー原宿のようなギャラリーは格好の発表の場であると言えます。

デザイン・フェスタの3回の出展を経て、表現活動がより弾みのあるものとなるよう、このフリーペーパーを定期的に発行していきたいと思えます。試行錯誤ではありますが、写真の紹介、展示の情報ははじめ、様々な内容を盛り込んでいきたいと思えますので、宜しくお願いします。

# Design Festa Vol.34

ご来場ありがとうございました。

2011.11.13 東京ビッグサイト西ホール J-4 ブースにて出展



3回目になったデザフェスへの出展。過去2回は秩父鉄道をテーマに展示を行ってきましたが、今回は仙台・宮城をテーマに、やはり鉄道写真、そして観光写真の展示を行いました。

去る6月にもデザイン・フェスタ・ギャラリー原宿で同様のテーマの展示「伊達に旅する写真展」を行いました。今回はその延長戦という位置付け。

6月の展示では、宮城県を県南(白石)から県北(鳴子)・三陸(気仙沼)へと順に、エリアごとに写真の紹介を行いました。今回は自然・まつり・歴史・食、そして鉄道と、5つのジャンルに分けた展示をメインとしました。鉄道は様々な街を結び、文化を結ぶ

大切なネットワークであるという考え方のもと、真ん中に据えました。

6月と同様、伝えたかったのは「皆さん、電車に乗って仙台・宮城に出かけてください」という願い。

特に沿岸部では復旧・復興は厳しい道のりです。そのために尽力されている方も数多くいらっしゃいます。だからと言って遊びに出かけてはいけないのかという決してそうではありません。仙台市内を中心に内陸部では殆どの施設が問題なく利用できます。観光も全く問題ありません。一部を除き、各種イベントも通常通り開催されています。なので、是非、全国の皆さんに仙台・宮城に「遊びに」出かけてほしいんです。

一部では事前に「ネットでは流せない写真を展示する」と予告しましたが、これは、9月19日に訪問した仙石線、石巻線の不通区間で撮影した写真のことでした。仙石線は高城町～矢本間、石巻線は石巻～女川間が現在も不通となっています。震災前に撮影した写真と対比が可能な個所について、震災前後の写真を左右または上下に並べる形で展示を行いました。

Webへの安易な掲載は、画像が独り歩きして思わぬ誤解を招く可能性があります。あくまで、元の状態があってこそ、という考えで、対比による展示に踏み切りました。本紙でもあくまで、各写真の単独掲載を回避できるという要件のもと、右写真にて展示の様子を掲載させていただきます。

展示右下の文章をそのまま掲載します。

そこにレールがあって そこを走る車両があって  
レールを維持してくれる人がいて 列車を安全運転してくれる人がいる。  
このような日常に改めて感謝しています。  
自然の脅威により尊い命が奪われ 残された人たちの生活基盤も奪われ  
これから長い道のりをかけて 元の暮らしを取り戻さねばならない。  
このような地域にも、レールは絶対に必要です。  
「その日」まで、いえ、これからも、ずっと、応援しています。



物販は、6月にも販売したポストカードのほか、2点の新商品をそろえました。

「伊達に旅する写真集」と「スーパードラゴン年賀はがき」。

いずれも詳しくは最終ページでご紹介します。

今回は何とか11時までに準備も終わり(苦笑)、いつも通り、19時までの長丁場。今回は昼食時間の留守番をMammyさんにご協力頂きました。大変ありがとうございました。

向かいではライブペイントが大きく2組構えていて、そちらもかなりの人気ようでした。

おかげさまで多くのお客様に目に止めて頂き、ポストカード・写真集もご購入頂きました。

宮城ご出身の方々、あるいは訪問されたことのある方々にご覧頂く割合が高かったようです。足を止めて頂いたお客様には、まず、この展示の趣旨をご説明しましたが、すべてのお客様に納得頂けていたようです。

また、不通区間に関する展示についても「現状が余り報じられていないので知ることが出来てよかった」と、良い評価を頂きました。

改めて、ご来場いただいたお客様、また、様々な形でご支援頂いた知人・友人に深く感謝致します。ありがとうございました。



次回、Design Festa Vol.35にも出展します。5月12日(土)と13日(日)。初めての両日参加です。テーマは再度、秩父鉄道に戻します。初心に帰って昨年11月のVol.32と同様、「色」に拘った展示を行います。機関車にも新色が増え、オレンジが復活するなど、昨年とはまた異なった状況になっています。

同じ展示は2回はやりません。半年かけて色々趣向を凝らしますので、是非また足をお運びください。

お待ちしております。

## 花火ツアー 2011 写真展

# 日本には花火が必要なんだ。

2011年12月23日(金)～29日(木)、デザインフェスタギャラリー原宿にWEST 2-Bにて開催



次の大規模展示は年末です。

東京では初の、花火写真に特化した展示を行います。

来年以降、より多くの花火大会が開催されるように、という願いを込め、今年訪問した16大会(予定)で撮影した写真を展示します。

会期も1週間と長めです。ご来場お待ちしております。

日時：2011年12月23日(金)～29日(木) 11:00～20:00  
(23日は12:00から、29日は17:00まで)  
場所：デザインフェスタギャラリー原宿 WEST 2-B  
料金：入場無料

# 伊達に旅する写真集 ～仙台・宮城へ出かけよう～ **発売中!!**

1冊 800円(うち寄付金 300円)

11月13日のDesign Festa Vol.34にて発売を開始した写真集。A5判32ページに、仙台・宮城の鉄道・観光写真を凝縮しています。

6月に開催した「伊達に旅する写真展」同様、県南から県北へとエリア別の見どころと、周辺各地を結ぶ鉄道を順に紹介する構成。巻頭グラビアあり。

仙台・宮城観光の基本を押さえることが出来る一冊。売り上げのうち、1冊300円分については、宮城県を中心とした被災地支援活動に活用して頂くよう、寄付を行います。

11月19日(土)～27日(日)まで、

デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿

WEST アートピース No.21

にて臨時販売を行っています。



## スーパードラゴン年賀はがき

来年、平成24年は辰年。

そこで、その路線の形から「ドラゴンレール」の愛称を持つ、大船渡線を走る「快速スーパードラゴン」をモチーフにした年賀はがきを作成しました。売上げは全額寄付金となります。

※切手は別にお求め頂き、貼り付ける必要があります。

※上記「伊達に旅する写真集」と同じ期間、場所で臨時販売を行います。

価格は10枚1袋200円。デザフェス時よりも割安になっています。



## あしがき

デザイン・フェスタ終了直後ということで、その報告と物販のお知らせが中心となりました。今後は、日常、撮影した写真を織り交ぜながら、カラフルながら読んで楽しめる記事を増やしていきたいと考えています。

ご意見、ご感想等はE-mail (ctin@ctin.jp) または Twitter (@t\_kohno) などでお寄せ下さい。尚、頂いたご意見、ご感想等は紙面に掲載させて頂く場合がございますのでご了承願います。

今、まさに秋から冬へと移り変わり、急激に寒くなっています。体調に十分ご注意ください。一方で冬はいい青空が期待できるようになり、撮り鉄にはいい季節です。また、11月23日は長野えびす講花火大会、12月3日は秩父夜祭でも花火大会。冬も澄んだ空気で綺麗な花火が期待できます。

本紙は当面、概ね月1回の発行を目指します。次号は12月23日、花火写真展初日に発行予定です。

